

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p><b>1 一人一人の児童生徒の尊重</b></p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p>	<p><b>2 友達への思いやり</b></p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p>	<p><b>3 道徳・心の教育の充実</b></p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p> <p>保護者 教職員</p>
<p>【学校から】○一人一人の児童生徒の尊重については、昨年度より児童の数値は上がっているものの保護者、教職員の数値が下がっている。学校便りで児童の取組を伝えたり、学級通信等で各学年の取組の様子を伝えたりして、児童の変容を保護者に伝えていきたい。○友達への思いやりについては、児童、保護者、教職員共にプラスの評価が9割以上である。道徳の授業の工夫、特別活動の充実、また人権学習の推進等の学校全体の取組の成果だと考えられる。今後も思いやりの心について考える場を設定し、保護者との連携を図っていきたい。○道徳・心の教育の充実については、昨年度と比べて保護者のプラスの評価の割合が上がった。道徳の授業を中心に、学校の教育活動全体を通して道徳教育を推進してきた成果であり、今後さらに家庭と連携した取組を進めていきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<p><b>4 意欲的な学習態度</b></p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p>	<p><b>5 授業力向上</b></p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p>	<p><b>6 ICT活用</b></p> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p>
<p>【学校から】○意欲的な学習態度については、保護者、児童、教職員共に9割以上が高評価である。昨年度に比べ、児童の「そう思う」が5%伸びており、意欲的に学習に取り組む姿勢の高まりが見られる。教職員は、意欲的な態度につながる工夫を今後も継続していく必要がある。○授業力の向上については、保護者、児童、教職員共に9割以上が高評価である。教職員は、児童が「できた」という実感、「わかった」という喜びを味わわせられるような授業づくりを引き続き努力していく必要がある。○ICTは活用しているが、児童と保護者の意識のずれが大きい。3学期のタブレット研修を受けて2019年度からは、有効的な活用を各教科で行う必要がある。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

**7 健康づくり**

子どもは、好き嫌いをなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者  
児童  
教職員

【学校から】○健康づくりについては、保護者、児童、教職員のプラスの評価が上がっている。生活リズムチェックの継続的な取組や保健だよりでの保護者への情報発信の成果である。児童に関しては、学校全体での体力タイムや、総合運動部活動を通して運動好きの児童が増えている。しかし、早寝・早起き等生活習慣に課題のある児童もいる。今後学校保健委員会で生活習慣についての保護者啓発を行い、学校・家庭が連携して生活習慣の向上を図りたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

**8 児童生徒理解**

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。

保護者  
児童  
教職員

**9 いじめや問題への対応**

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

保護者  
児童  
教職員

②特別支援教育の推進

**10 学校の支援体制**

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

保護者  
教職員

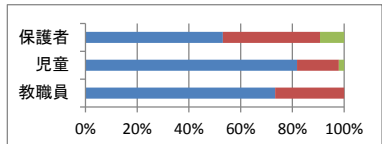
【学校から】○児童生徒理解については、保護者、児童、教職員ともにプラスの評価が9割以上である。日常のふれあい、特別活動での様々なよさの発見、教育相談等を通して、さらに子ども理解に努め、認め・ほめ・励ます教育を推進していきたい。○いじめ問題の対応については、児童、教職員のプラスの評価が97%以上であるのに対し、保護者の評価は86%とずれがある。保護者と連絡を密に取り、理解しあうとともに、いじめ防止対策に向けた取組を周知徹底できるようにお便り等でわかりやすく伝えていきたい。○学校の支援体制については、保護者と教職員の意識のずれが見られる。支援を要する児童については、校内支援委員会で検討を重ね、保護者や外部機関との連携を深めていきたい。

## ①子どもたちの身近な安全対策の充実

## ②最適な学習環境の整備

### 11 安全と事故防止

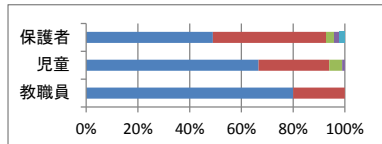
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】○昨年度に比べ、教職員の「4」の割合が下がっている。学級活動での計画的な安全教育の実施や、日常の安全教育を通して、児童の意識を高めるとともに、学校での取組を学校だよりや学級通信等を通して発信し、学校・家庭が連携して安全教育に取り組んでいきたい。

### 12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

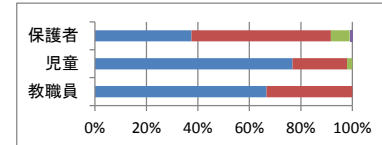


【学校から】○施設・設備を安全に管理するために、教職員による月1回の安全点検を行っているが、保護者、児童からの気づきも聞き取り、整備・管理に努めていきたい。

## ③家庭・地域社会との連携強化

### 13 教育方針・目標の理解

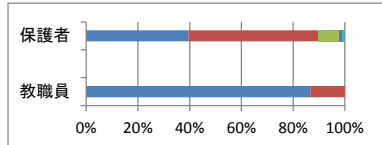
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】○教育方針・目標の理解については、保護者、児童、教職員ともに「3」「4」の割合が90%以上である。教育方針・目標を常に意識して教育活動を行ってきたことがわかる。昨年度と比べると児童の数値が向上している。日頃から、教師が児童に分かりやすい言葉で伝えてきた成果であると考えられる。家庭や地域との連携・協力については、教職員の数値が向上している。今後も引き続き、家庭・地域と協力しながら教育活動を展開していきたい。

### 14 家庭や地域との連携協力

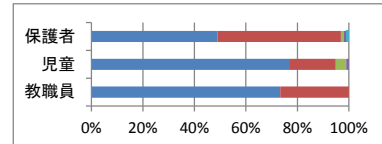
学校は、「児童が主役」の教育活動（達成感や成就感を味わわせる活動）を展開していると思いますか。



## ④本校の教育

### 15 「児童が主役」の教育活動の展開

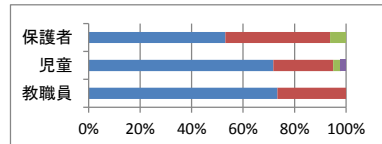
学校は、「児童が主役」の教育活動（達成感や成就感を味わわせる活動）を展開していると思いますか。



【学校から】○「児童が主役」の教育活動の展開については、保護者、児童、教職員ともに「3」「4」の評価が95%以上である。特別活動を充実させることで、自分たちの立てた計画を実行に移す経験を通して、達成感を味わう場を設けてきた。学ぶ楽しさや分かる・できる喜びのある教育の推進については、昨年度に比べて児童の数値が若干下がっている。授業改善に努め、楽しく分かりやすい授業づくりに努めていきたい。地域が誇りに思う開かれた学校づくりについては、保護者、児童、教職員ともに「3」「4」の評価が95%以上である。今後さらに地域との連携を深めながら地域とともにある学校づくりを推進していきたい。

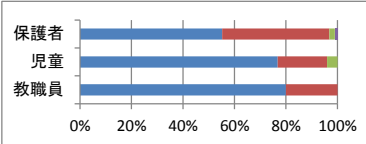
### 16 学ぶ楽しさや分かる・できる喜びのある教育の推進

学校では、学ぶ楽しさや分かる・できる喜びのある教育が推進されていると思いますか。



### 17 3地域が誇りに思う開かれた学校づくり

学校は、地域が誇りに思う開かれた学校づくりをしていると思いますか。



## 来年度の具体的な取り組みについて

- 昨年度作成した「教育方針・目標の理解」を進めるための「クランドデザイン」を保護者だけでなく地域の方にも配布し、地域全体に教育目標の共有化を図った。教育目標を根拠に据え教育活動を地域と一体となって推進していく。
- 日課の見直しを行い、放課後の教材研究の時間を確保し、授業の充実を図っていく。また、個に応じた学習の更なる徹底を図っていく。
- 基本的な生活習慣の確立、挨拶、マナーなどの規範意識を育てるために、児童会活動を活性化し、児童が主体的に取り組めるようにする。また、PTAや地域の諸団体と連携しながら、地域全体で児童を育てる環境づくりに努める。
- 総合的な学習の時間の、「ふれあい農園活動」「福祉体験」「田原坂ウォークラリーの案内」等、保護者、地域人材を活用した交流を行っている。来年度は、これらの活動をさらに充実させながら、地域が誇りに思う開かれた学校づくりを推進していきたい。
- 安全と事故防止のために、安全教育を計画的に実施し、児童の危機回避能力を高めたい。また、学級通信等で、安全教育の様子を発信することで、学校・保護者地域が一体となって児童の事故防止に努める。
- 熊本市小学校学力調査を受けて、児童の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努めたい。
- 体力向上のために、体育の授業の充実、体カタイムの定期的な実施等に取り組んでいる。今後これらの活動を充実させるとともに、児童会活動を活性化し、児童の体力向上に関する意欲を高めたい。

## 学校関係者評価

- 地域を誇りに思う開かれた学校づくりは実現されているが、内側だけでなく、外に目を向ける機会が必要である。
- 教師、保護者、児童間の評価結果にあまり差がないようである。
- 授業づくりの5つの視点が実践されていた。
- 大型モニター等の導入により、質の高い授業ができていくように感じた。
- 自然災害等の対策もしっかりされており安心した。
- 各学年の教室に、クラスの目標が掲示されていたのが良かった。
- 授業で、全体的に子どもへのなげかけが多く、良い授業だった。
- 大変良い学校運営ができていく。
- いろいろな面で子どもの抵抗力・忍耐力が弱くなってきているようだ。大人の関わり方を考えなければならないのではないかな。